

# ●●講中を訪ねて●●

## 中清戸講

講元 並木 浩

約十年ほど前から、父に代わり講元を務めさせて頂いております。

戦争中閉鎖されていた講中だったのですが、戦後再開されてから、片柳主幹宮司の元にお世話になるようになったと先代から聞いております。



講中の皆さん方も御嶽山に参拝に訪れるのを楽しみにしている方も多いようです。

数年前に初めて代表参拝に参加された若手の方が、神社や御嶽山という山にも心を動かされたそうで、御嶽講を改めて大切に思ったそうです。

所在地 東京都清瀬市中清戸  
講員数 二十五名  
主幹宮司 片柳 正俊



## 宮ノ脇講

神職 金井 格

講元の石田昇さんにかがうと宮ノ脇講中は明治の初めに講を結んだと伝えられているそうです。現在は三十戸の講員を籤により五班にわけ六人ずつ毎年参拝し、六年に一回講結びを行い全員で参拝をする形をとっています。

この地域の歴史は大変古く、毎年、下新倉氷川神社秋祭り奉納される和光市無形文化財「ささら獅子舞」は室町時代、元龜三年（一五七二年）に始まったと伝えられています。講元の石田様宅はこの獅子舞の用具一切を預かる宿元としても代々活躍され、講員の皆様をはじめ地域の人々とも

に伝統を守り続けています。

講元名 石田 昇  
所在地 埼玉県和光市  
講員数 三十件  
主幹宮司 金井 國俊



# 修行 体験 講座

毎回多くの方にご参加を頂き有難うございます。あなたが「生きている」「生かされている」事の何かのきっかけになればと思います。霊山の中での鎮魂 一度ご参加なさってみてください。



## 一泊二日体験講座

六月二十一日(土)～二十二日(日)、九月二十日(土)～二十一日(日)  
資格 十八歳～六十才くらいまでの健康な方  
開催人員 三十名まで  
費用 一万五千三百円(申込金・五千三百円振込)

## 日帰り体験講座

七月二十一日(祝)  
費用 五千円(申込金・全額五千円振込)  
締切 開催一週間前 申込金の事前振込が必要です。  
沢山の方の御参加をお待ちしております。

# 神楽講習会と 神楽一般公開

三月九日から三日間の間、当社に伝わる太々神楽の講習会が開催されました。若い御師達が諸先輩方に神楽を御教授頂き、その振る舞いを少しでも継承してゆこうとする、真剣な眼差しを見ました。

本年も当社の太々神楽を一般の皆様にも観賞していただけるように太々神楽を公開いたします。九月「新神楽」は、月明かりの中で、篝火に舞う影を追い、御岳山の夜を楽しみながらご観覧ください。その他にも日中の公開や、夜神楽もございますので、御参拝に合わせお楽しみいただけます。当社の太々神楽は、江戸中期の寛延年間と安永年間に伝えられ、昭和三十二年、東京都無形民俗文化財に指定され、現在御師により伝承されております。巫女舞は神職のお子さんを中心に伝承しておりますので、微笑むような舞がご鑑賞いただけます。また、神楽の最後には祝いの投げ餅も御座いますので、神楽の喜びをお持ち帰りになり、お召し上がり下さい。

夜神楽 四月より十一月までの毎月第四日曜日 於・神楽殿(夜間八時より)  
神楽と雅楽の一般公開

新神楽 六月十五日 十月十三日 於・神楽殿(午前十一時より)  
九月十三・十四日(土・日) 両日開催

於・野外特設舞台・雨天神楽殿(夜間八時より)  
演目はその都度替わります。詳しくは、社務所へお問い合わせ下さい。

